

「生活意識に関するアンケート調査」(第43回)の結果 平成22年9月調査

<はじめに>

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、平成5年以降、全国の満20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。

<目 次>

1. 要 旨	
1-1. 景況感等	2 頁
1-2. 暮らし向き、消費意識	4 〃
1-3. 物価に対する実感	6 〃
1-4. 先行きの地価動向	10 〃
1-5. 日本経済の成長力	10 〃
1-6. 統計の利用状況	11 〃
2. 集計対象標本の属性分布	15 〃
3. アンケート調査結果の詳細	16 〃

【調査概要】

- ・ 調査実施期間 : 平成22年8月11日(水)～9月6日(月)
- ・ 調査対象 : 全国の満20歳以上の個人
- ・ 標 本 数 : 4,000人(有効回答者数 2,222人<有効回答率 55.6%>)
- ・ 抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- ・ 調査方法 : 質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

<本件に関する照会先>
情報サービス局総務課総務企画グループ
岩淵、早川、阿部(直通:03-3277-2405)

1. 要 旨

1-1. 景況感等

1-1-1. 景況感

景況感については、現在（1年前対比）は、「悪くなった」との回答は不変であったものの「良くなった」との回答が減少したことから、景況感D.I.は悪化した。先行き（1年後）は、「悪くなる」との回答が増加した一方、「良くなる」との回答が減少したことから、景況感D.I.は悪化した。

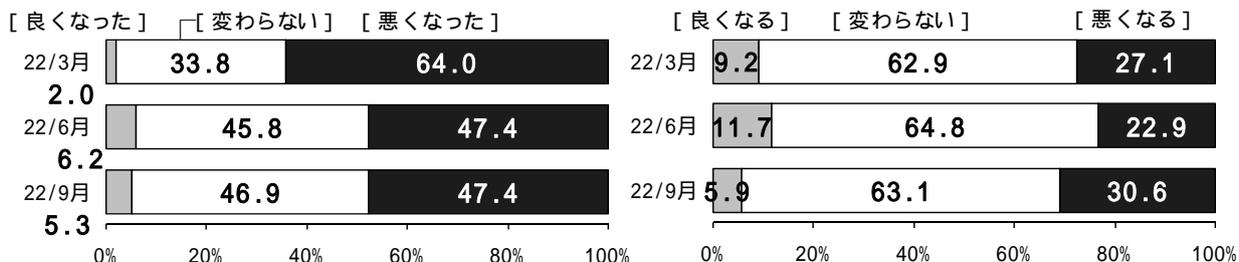
なお、現在の景気水準については、「どちらかといえば、悪い」との回答が増加し、『悪い』^(注)との回答が約8割となった。

(注)『悪い』は「悪い」と「どちらかといえば、悪い」の合計。

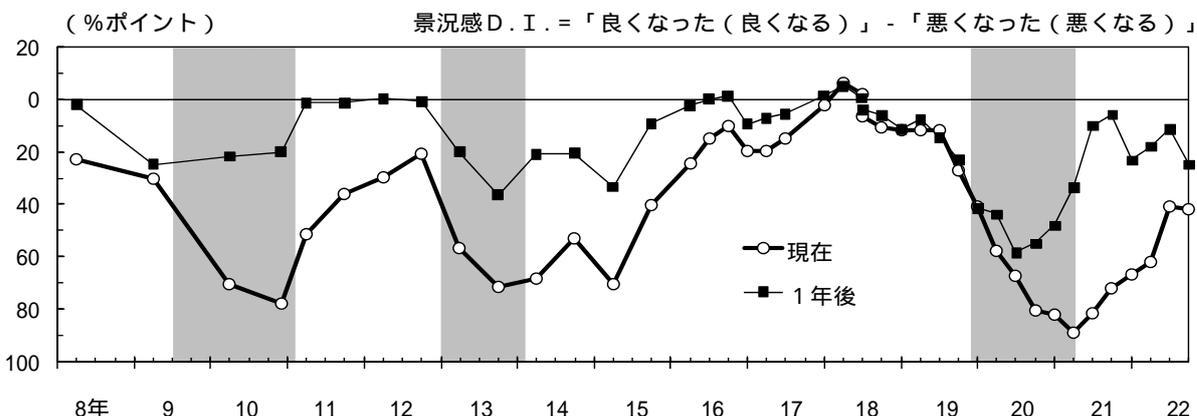
(図表1) 景況感〔Q1、3、4〕

< 現在を1年前と比べると >

< 1年後を現在と比べると >



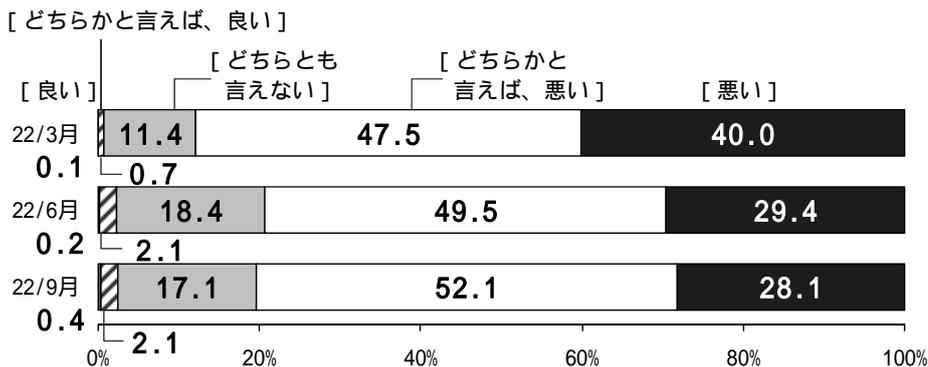
< 景況感D.I.の推移 >



	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9
現在の景況感D.I. (前回比)	40.7 (13.3)	57.7 (17.0)	67.3 (9.6)	80.4 (13.1)	81.9 (1.5)	88.9 (7.0)	81.4 (+7.5)	72.3 (+9.1)	67.0 (+5.3)	62.0 (+5.0)	41.2 (+20.8)	42.1 (0.9)
1年後の景況感D.I. (前回比)	41.4 (18.5)	43.7 (2.3)	58.3 (14.6)	54.7 (+3.6)	47.9 (+6.8)	33.5 (+14.4)	9.9 (+23.6)	5.7 (+4.2)	23.1 (17.4)	17.9 (+5.2)	11.2 (+6.7)	24.7 (13.5)

(注) 1. 18/6月調査までは訪問留置法、18/9月調査からは郵送調査法(18/6月の予備調査を含む)。
 2. 18/6月調査までのD.I.は「良くなっていると思う」-「悪くなっていると思う」。
 3. 本調査は10/3月まで年1回、10/11月から16/3月までは年2回、16/6月からは年4回実施。17/9月は実施せず。
 4. シャドー部分は、景気後退期。

< 現在の水準 >

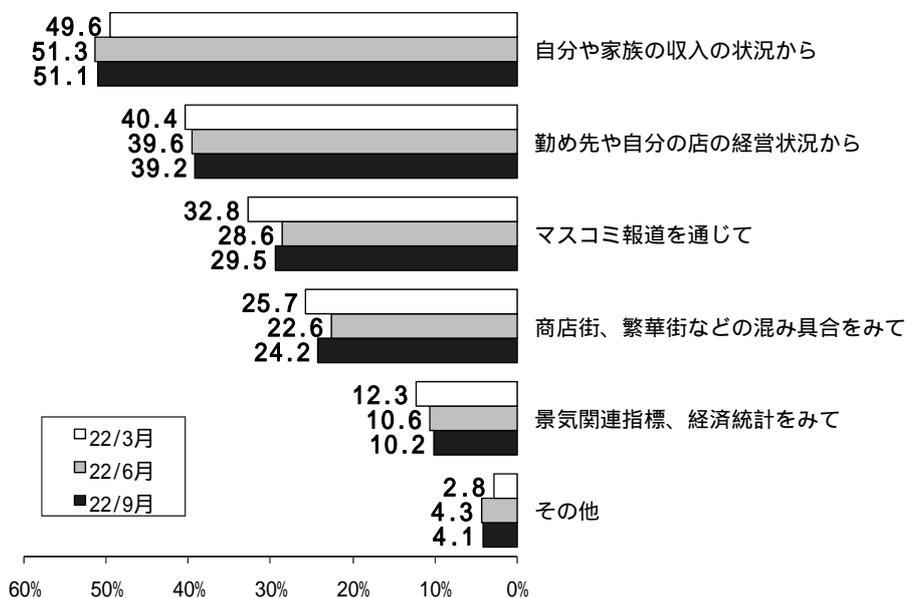


1-1-2. 景気判断の根拠等

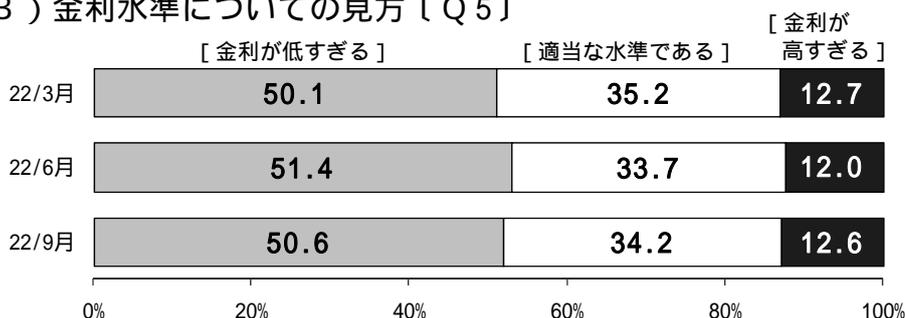
景気判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「勤め先や自分の店の経営状況から」、「マスコミ報道を通じて」といった回答が多かった。

金利水準についての見方は、「金利が低すぎる」との回答が減少し、「金利が高すぎる」との回答が増加した。

(図表 2) 景気判断の根拠 (2 つまでの複数回答) [Q 2]



(図表 3) 金利水準についての見方 [Q 5]

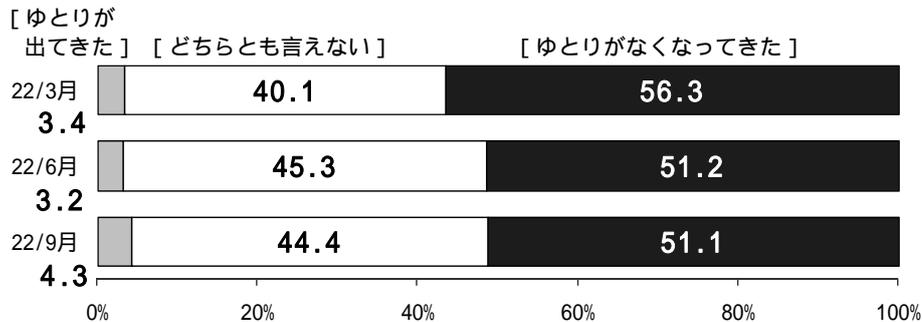


1-2. 暮らし向き、消費意識

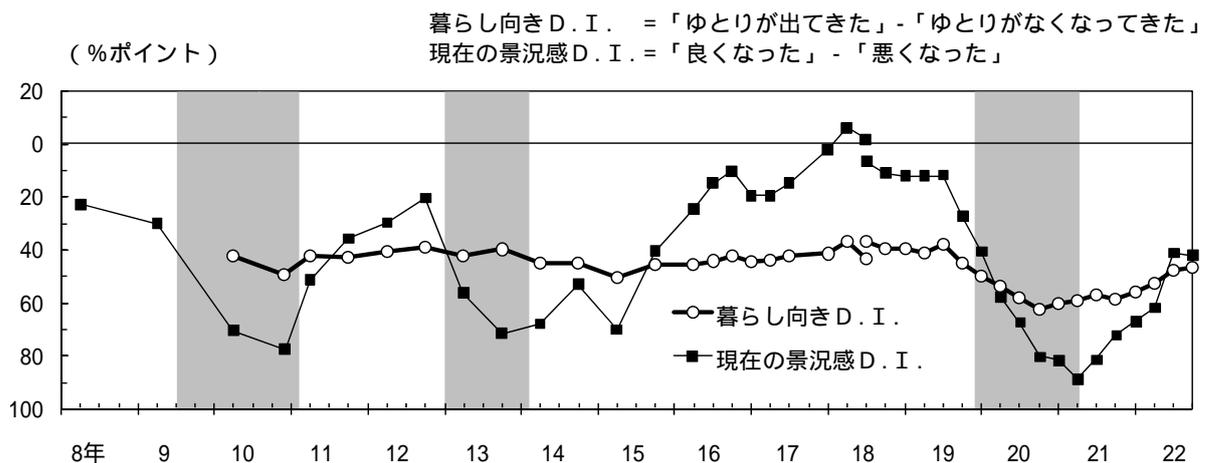
1-2-1. 現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（1年前対比）については、「ゆとりが出てきた」との回答が増加したことから、暮らし向きD.I.は改善した。

（図表4）現在の暮らし向き〔Q6〕



< 暮らし向きD.I.の推移 >



	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9
暮らし向きD.I. (前回比)	50.0 (4.9)	54.1 (4.1)	58.2 (4.1)	62.6 (4.4)	60.4 (+2.2)	59.4 (+1.0)	57.0 (+2.4)	58.7 (1.7)	56.1 (+2.6)	52.9 (+3.2)	48.0 (+4.9)	46.8 (+1.2)
現在の景況感D.I. (前回比)	40.7 (13.3)	57.7 (17.0)	67.3 (9.6)	80.4 (13.1)	81.9 (1.5)	88.9 (7.0)	81.4 (+7.5)	72.3 (+9.1)	67.0 (+5.3)	62.0 (+5.0)	41.2 (+20.8)	42.1 (0.9)

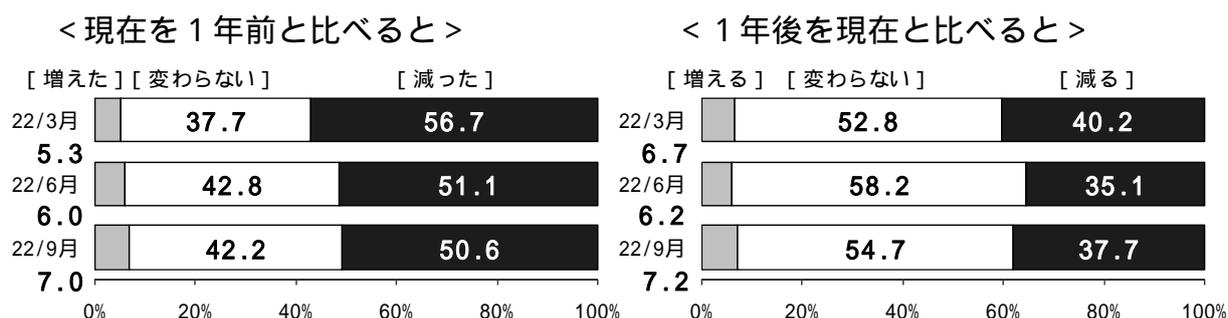
- （注）1. 18/6月調査までは訪問留置法、18/9月調査からは郵送調査法（18/6月の予備調査を含む）
 2. 18/6月調査までの景況感D.I.は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」、暮らし向きD.I.は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」 - 「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」
 3. 本調査は10/3月まで年1回、10/11月から16/3月までは年2回、16/6月からは年4回実施。17/9月は実施せず。
 4. シャドー部分は、景気後退期。

1-2-2. 収入・支出

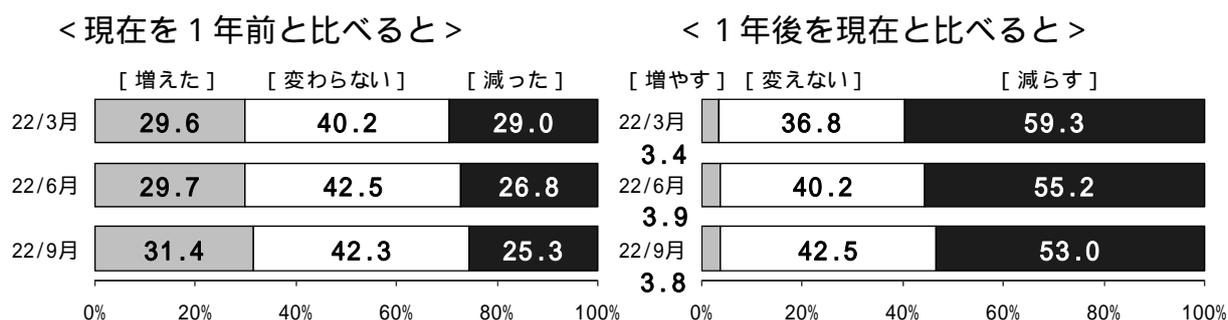
収入の増減については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が増加し、「減った」、「変わらない」との回答が減少した。先行き（1年後）は、「増える」、「減る」との回答が増加し、「変わらない」との回答が減少した。

一方、支出の増減については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が増加し、「減った」との回答が減少した。先行き（1年後）は、「変えない」との回答が増加し、「減らす」との回答が減少した。

（図表5）収入〔Q7、8〕



（図表6）支出〔Q9、11〕

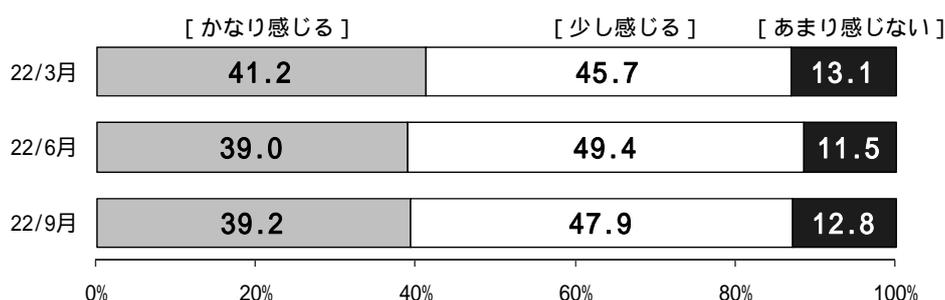


1-2-3. 雇用環境

1年後を見た勤労者^{（注）}の勤め先での雇用・処遇の不安については、「あまり感じない」との回答が増加した一方、「少し感じる」との回答が減少した。

（注）勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

（図表7）1年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）〔Q20＜うち勤労者＞〕



1-3. 物価に対する実感

1-3-1. 現在の物価

現在の物価^(注1)に対する実感(1年前対比)は、「ほとんど変わらない」との回答が増加した一方、『上がった』^(注2)、『下がった』^(注3)との回答が減少した。

また、1年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+1.3% < 前回: +1.6% >)は下落した一方、中央値(0.0% < 前回: 0.0% >)は横這いとなった。

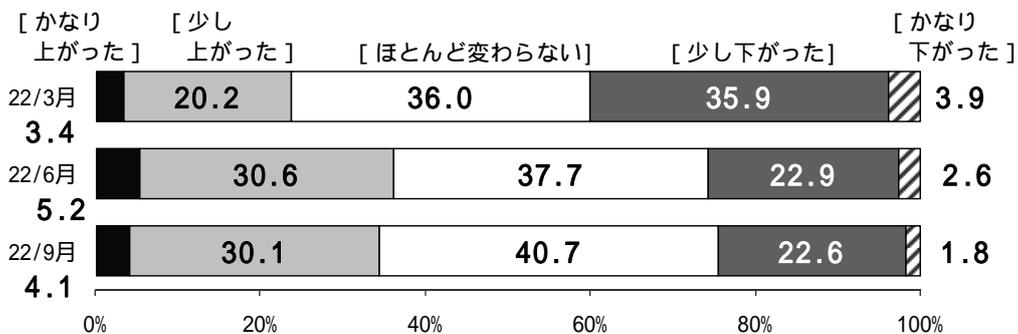
(注1) 「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。

(注2) 『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注3) 『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表8) 現在の物価に対する実感〔Q12、13〕

< 現在を1年前と比べると >



< 1年前に比べ現在の物価は何%程度変化したと思うか >

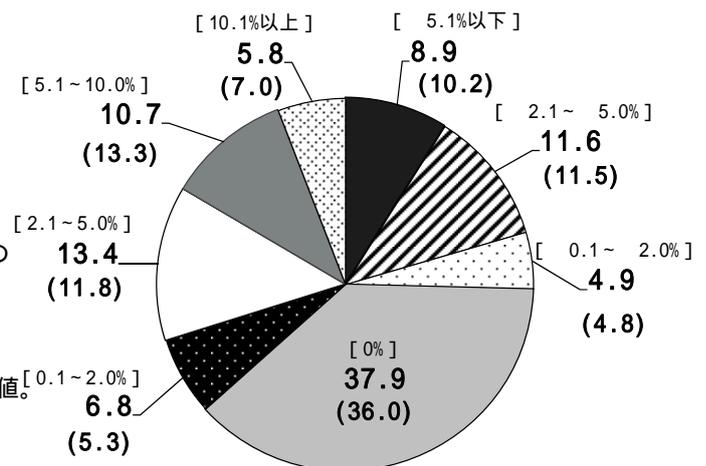
	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
22/3月	0.6%	0.0%
22/6月	+1.6%	0.0%
22/9月	+1.3%	0.0%

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+1.5%
 (前回調査<22/6月実施>: +1.8%)

(注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

< 今回調査の回答の分布 >

()内は前回調査(22/6月実施)の結果



1-3-2. 1年後の物価

1年後の物価については、『上がる』^(注1)、「ほとんど変わらない」との回答が減少した一方、『下がる』^(注2)との回答が増加した。

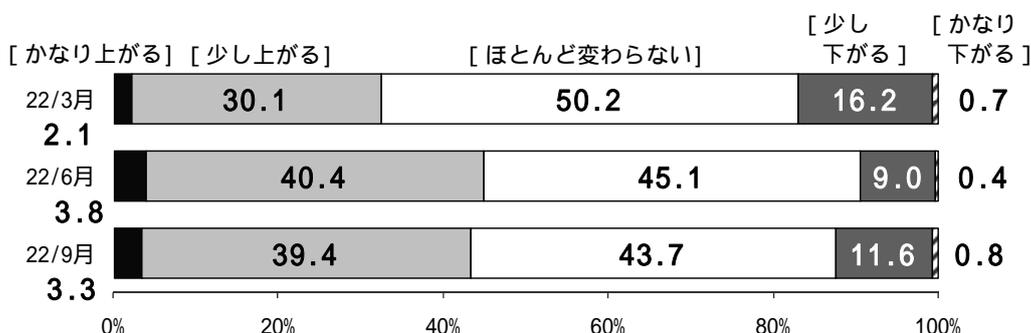
また、1年後の物価は現在と比べ何%程度変化するというかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+2.5% < 前回: +2.9% >)は下落した一方、中央値(0.0% < 前回: 0.0% >)は横這いとなった。

(注1)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2)『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表9) 1年後の物価に対する見方〔Q14、15〕

< 1年後を現在と比べると >



< 1年後の物価は現在と比べ何%程度変化するというか >

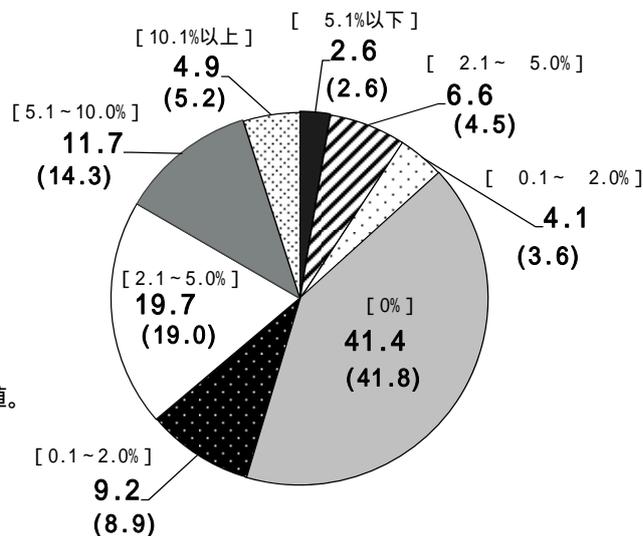
	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
22/ 3月	+ 1.7 %	0.0 %
22/ 6月	+ 2.9 %	0.0 %
22/ 9月	+ 2.5 %	0.0 %

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+2.6%
 (前回調査<22/6月実施> : +3.0%)

(注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

< 今回調査の回答の分布 >

()内は前回調査(22/6月実施)の結果



1-3-3. 5年後の物価

5年後の物価については、『上がる』^(注1)との回答が減少した一方、『下がる』^(注2)との回答が増加した。

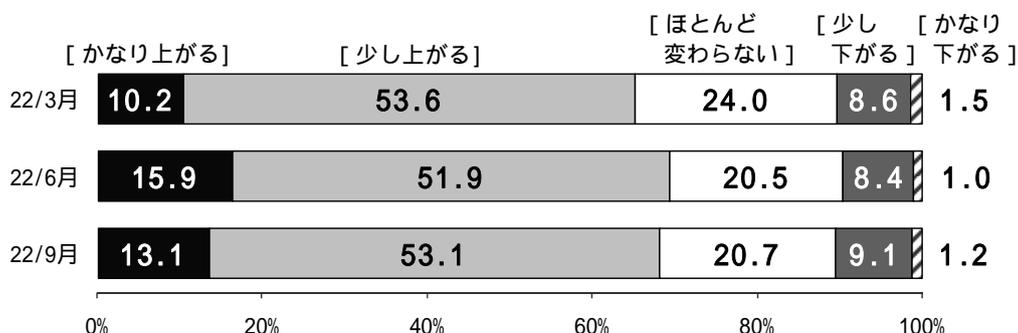
また、これから5年間で物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+3.3% < 前回: +3.9% >)は下落した一方、中央値(+2.0% < 前回: +2.0% >)は横這いとなった。

(注1) 『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2) 『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表10) 5年後の物価に対する見方〔Q16、17〕

< 5年後の見通し >



< 5年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか >

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
22/ 3月	+ 3.0 %	+ 2.0 %
22/ 6月	+ 3.9 %	+ 2.0 %
22/ 9月	+ 3.3 %	+ 2.0 %

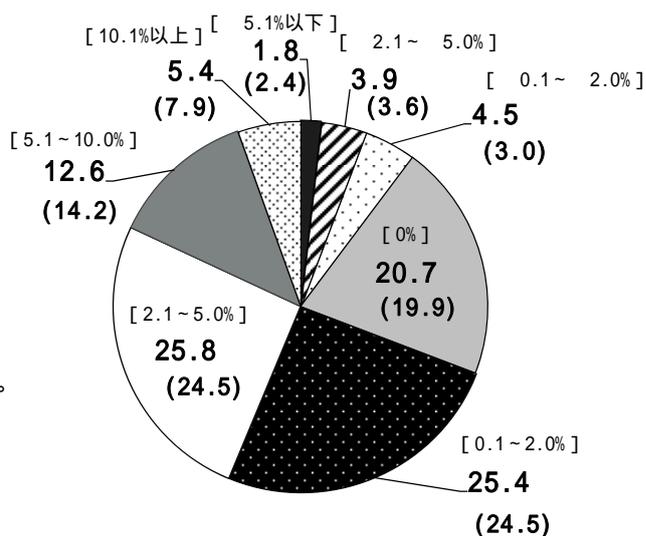
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+3.5% (前回調査<22/6月実施> : +4.0%)。

(注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

< 今回調査の回答の分布 >

()内は前回調査(22/6月実施)の結果



1-3-4. 物価上昇・下落についての感想

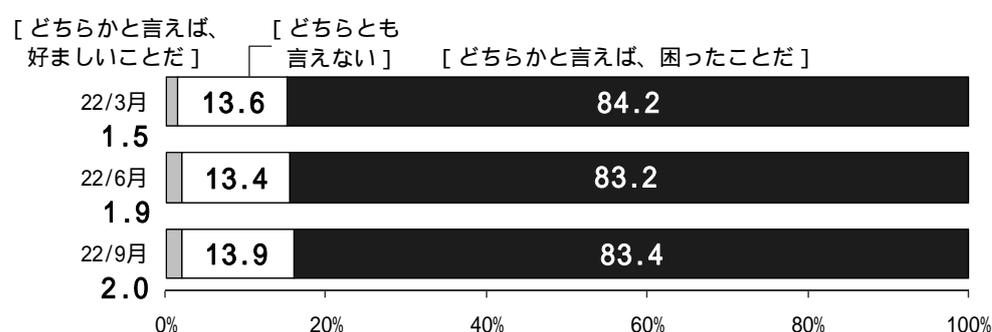
1年前と比べて物価が『上がった』^(注1)と答えた人(3割台半ば)に、その感想を聞くと、8割台前半の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

一方、1年前に比べて物価が『下がった』^(注2)と答えた人(2割台半ば)に、その感想を聞くと、2割台後半の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答し、3割台後半の人が「どちらかと言えば、好ましいことだ」と回答した。

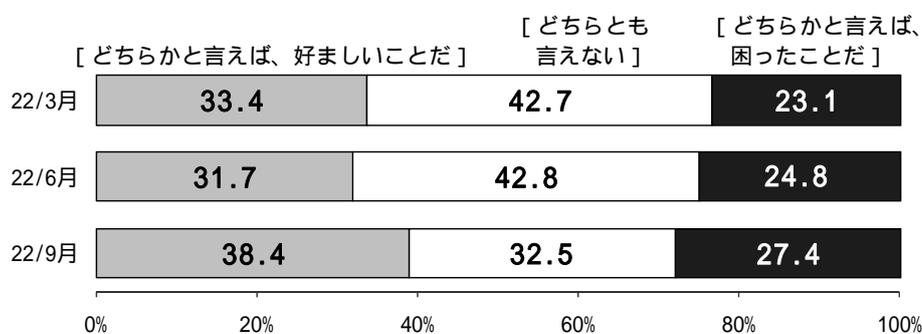
(注1)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注2)『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表11) 物価上昇についての感想〔Q12-a〕



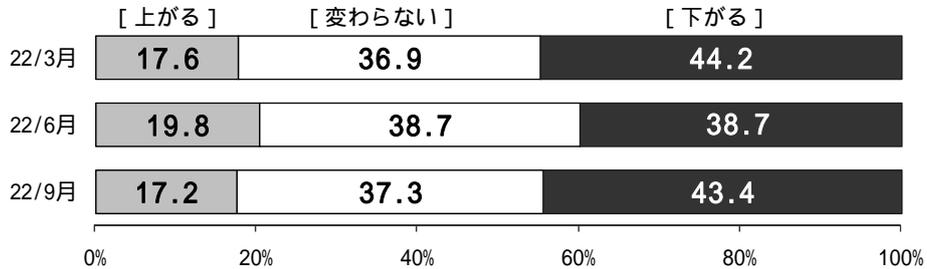
(図表12) 物価下落についての感想〔Q12-b〕



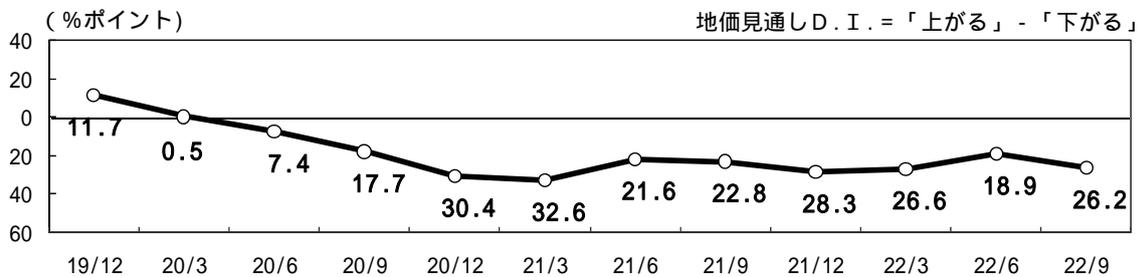
1-4. 先行きの地価動向

先行きの地価については、「上がる」との回答が減少し、「下がる」との回答が増加したことから、地価見通しD.I.はマイナス幅を拡大した。

(図表13) 先行きの地価動向に対する見方〔Q18〕



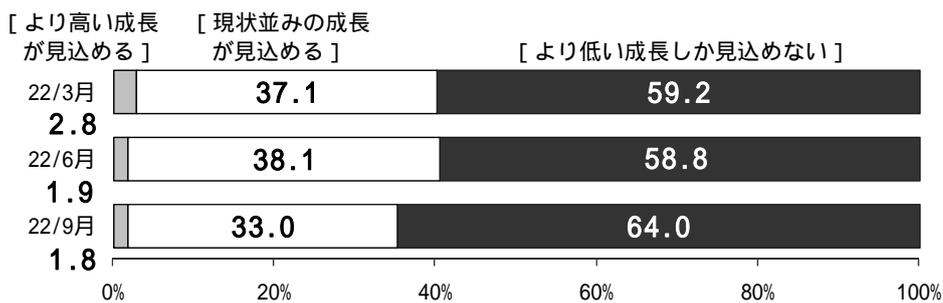
<地価見通しD.I.の推移>



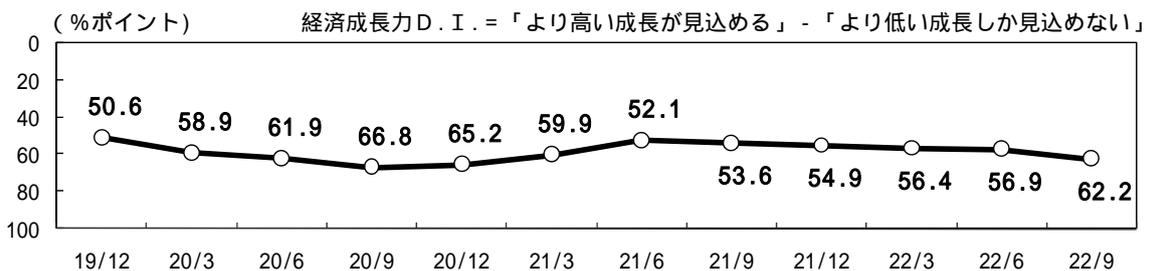
1-5. 日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「現状並みの成長が見込める」との回答が減少し、「より低い成長しか見込めない」との回答が増加した。

(図表14) 日本経済の成長力に対する見方〔Q19〕



<経済成長力D.I.の推移>



1-6. 統計の利用状況 (注) 今回新設

1-6-1. 統計の利用状況

統計の利用状況について尋ねたところ、外国為替相場、株価、GDP、短観、消費者物価、失業率といった様々な統計に関する報道について『見たことがある』(注1)との回答は7割台後半となった。『見たことがある』と回答した人のうち、こうした統計が実際の仕事や生活において『役立っている』(注2)との回答は2割台前半となった一方、『役立っていない』(注3)との回答は3割台半ばとなった。

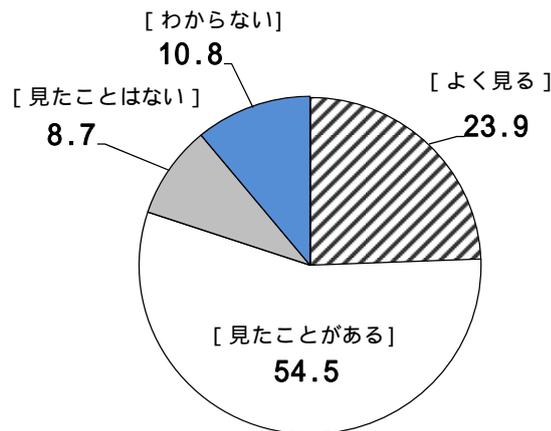
「役立っていない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「統計は普段の仕事や生活には関係ないから」との回答が最も多く、次いで「統計をどのように活用すればよいかわからないから」との回答が多かった。

(注1) 『見たことがある』は「よく見る」と「見たことがある」の合計。

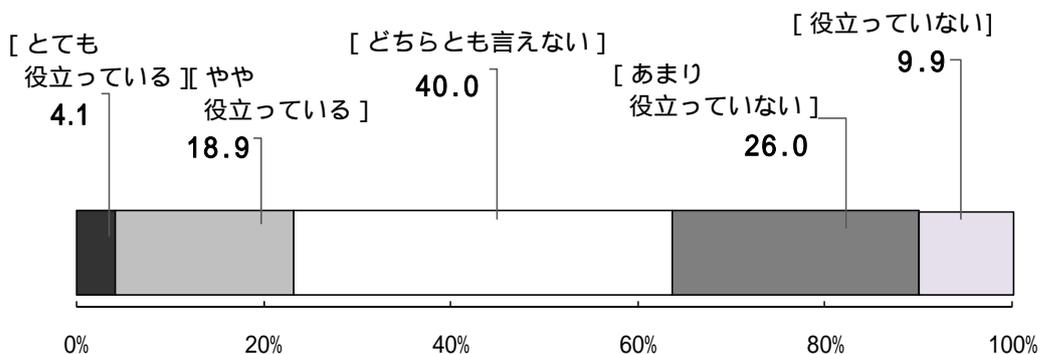
(注2) 『役立っている』は「とても役立っている」と「やや役立っている」の合計。

(注3) 『役立っていない』は「役立っていない」と「あまり役立っていない」の合計。

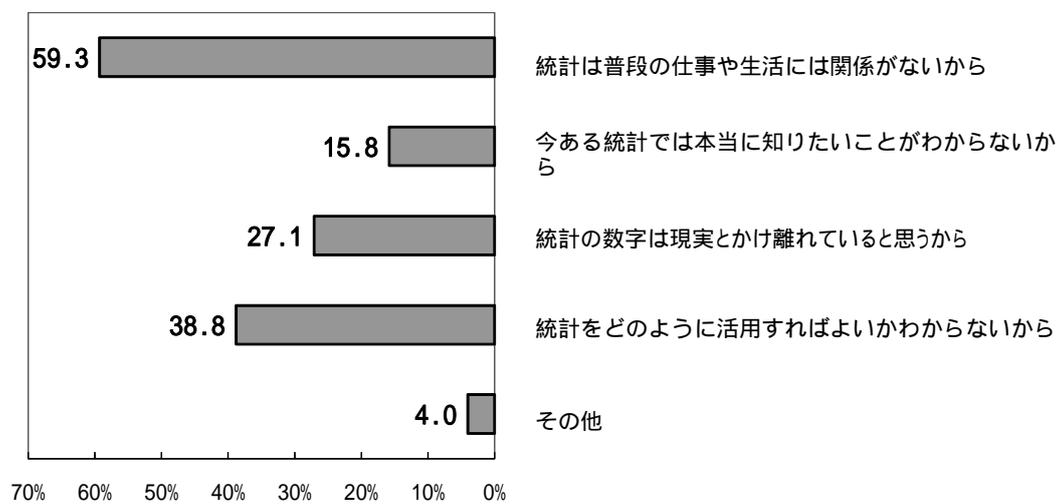
(図表15) 統計に関する報道の認知度〔Q21〕



(図表16) 統計に関する評価〔Q22〕



(図表 17) 統計が役立っていない理由 (複数回答) [Q22-b]



1-6-2. 日本銀行が作成している統計の認知度や利用状況、評価

日本銀行が作成している統計の認知度や利用状況について尋ねたところ、日本銀行が様々な統計を公表していることを『知っている』^(注1)との回答は6割弱となった。このうち、日本銀行の統計を『利用したことがある』^(注2)との回答は1割弱となった。

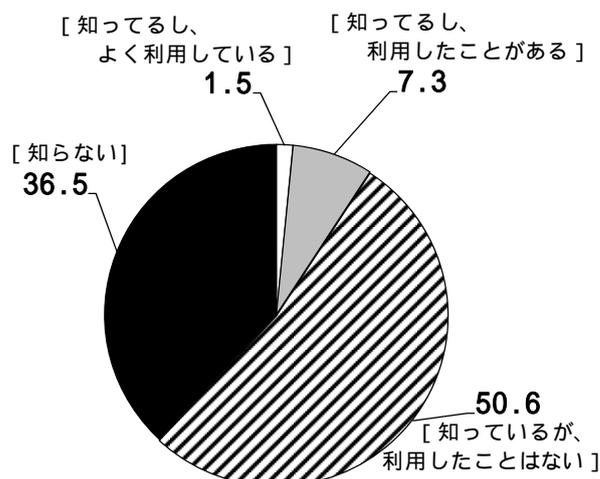
「利用したことがある」と回答した人に統計の入手方法を尋ねたところ、「新聞」との回答が最も多く、次いで「テレビ」との回答が多かった。また、日本銀行のホームページから統計を入手している人(約14%)に、統計の利用方法を聞くと、「ホームページの画面上で毎回の公表資料や時系列データを調べたり、確認したりする」との回答が最も多かった。

また、「利用したことがある」と回答した人に日本銀行が作成している統計への要望を尋ねたところ、「金融・経済の動きをいち早く把握できるよう、もっと早く公表して欲しい」や、「金融・経済の動きを正確に把握できるよう、もっと統計の精度を上げて欲しい」との回答が多かった。

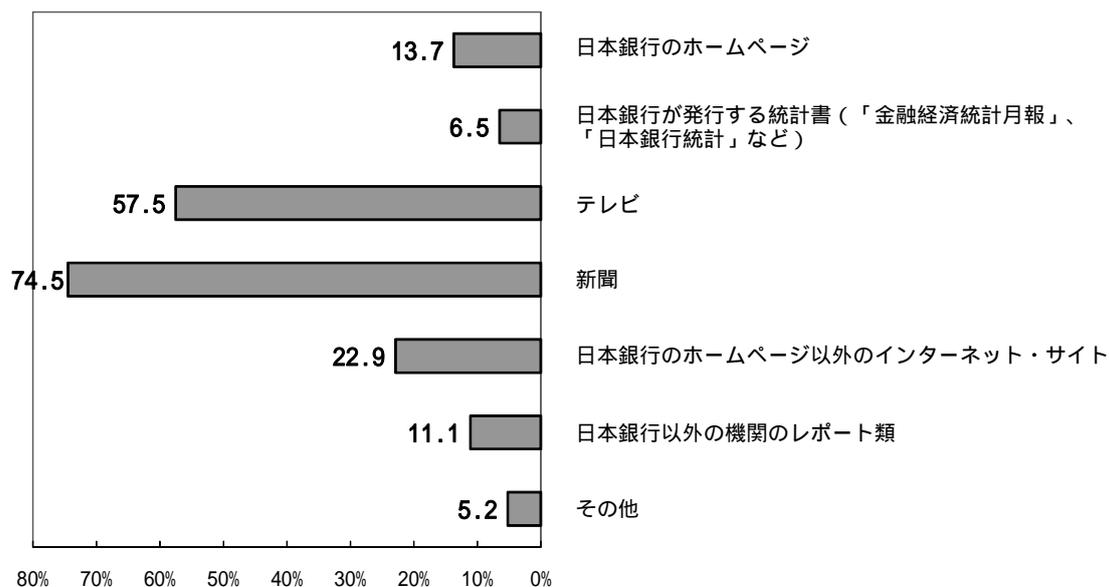
(注1)『知っている』は「知っているし、よく利用している」と「知っているし、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計。

(注2)『利用したことがある』は「知っているし、よく利用している」と「知っているし、利用したことがある」の合計。

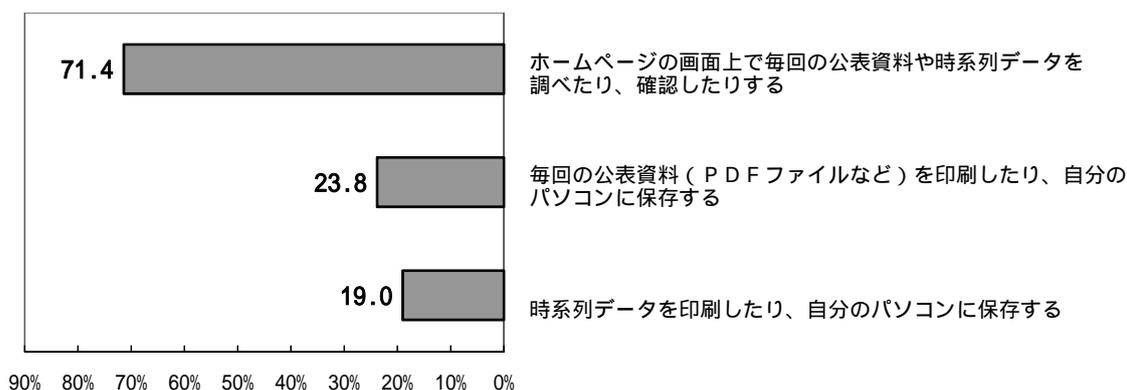
(図表18) 日本銀行作成統計の認知度・利用状況〔Q23〕



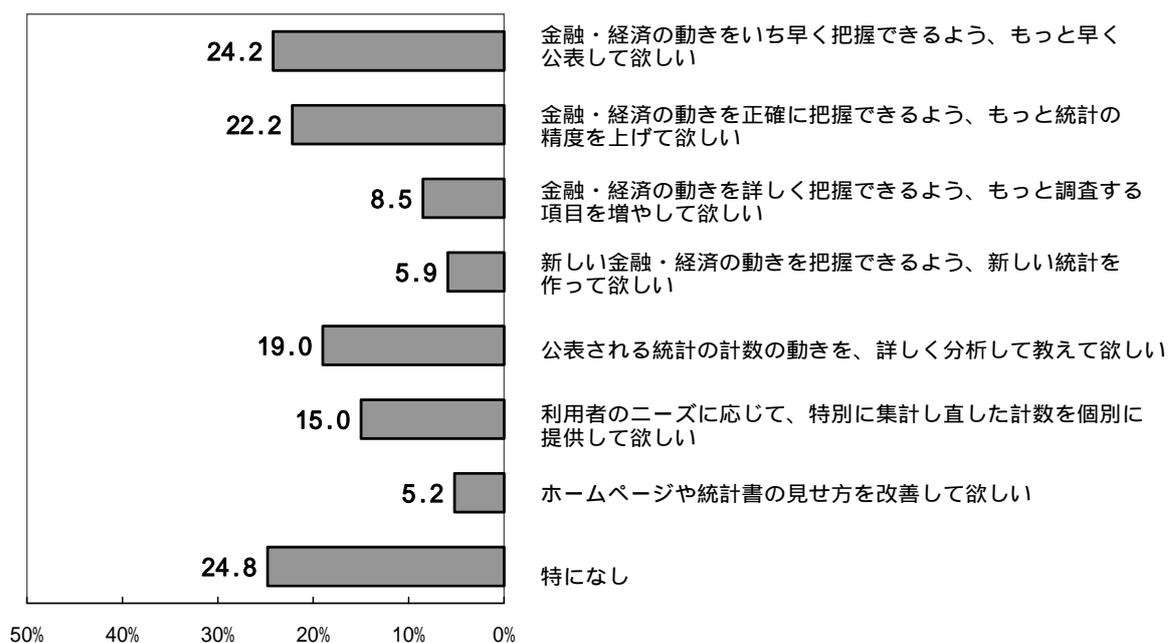
(図表 1 9) 日本銀行作成統計の入手方法 (複数回答) [Q23-a]



(図表 2 0) 日本銀行作成統計を日本銀行ホームページから入手している人の利用方法 (複数回答) [Q23-b]



(図表 2 1) 日本銀行作成統計への要望 (2 つまでの複数回答) [Q23-c]



2. 集計対象標本の属性分布

(構成比：%、母集団対比：%ポイント)

	22/9月調査 (A)	母集団 ^(注) (B)	母集団対比 (A) - (B)	抽出標本 (参考値)
--	----------------	---------------------------	--------------------	---------------

(性別構成)

男性	48.0	48.3	0.3	49.9
女性	52.0	51.7	0.3	50.1

(年齢別構成)

20～29歳	10.4	13.9	3.5	12.6
30～39歳	16.7	17.9	1.2	18.1
40～49歳	18.0	15.6	2.4	17.2
50～59歳	18.0	16.6	1.4	15.3
60～69歳	19.8	16.7	3.1	17.1
70歳以上	17.2	19.3	2.1	19.8

(地域別構成)

北海道	4.3	4.4	0.1	4.1
東北	7.4	7.5	0.1	7.5
関東	33.6	33.0	0.6	32.9
北陸	4.3	4.3	0.0	4.1
中部	14.6	14.0	0.6	14.3
近畿	16.1	16.2	0.1	16.5
中国	6.3	6.0	0.3	6.0
四国	3.8	3.2	0.6	3.4
九州	9.6	11.4	1.8	11.3

(注) 住民基本台帳に記録された平成21年3月31日現在の市区町村別人口による。

3. アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」(第43回) 平成22年9月調査

- ・ 選択肢ごとに付記した数値は、回答対象者数を100とした時の各選択肢の回答比率(単位%、小数第2位以下四捨五入)。
- ・ 回答は、特に断りのない限り、択一。
- ・ 四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
- ・ ()内の数値は、特に断りのない限り、前回調査結果(第42回、平成22年6月実施)。

- Q1. 1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなった | 5.3 (6.2) |
| 2 変わらない | 46.9 (45.8) |
| 3 悪くなった | 47.4 (47.4) |
- Q2. Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。【2つまでの複数回答】
- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 マスコミ報道を通じて | 29.5 (28.6) |
| 2 景気関連指標、経済統計をみて | 10.2 (10.6) |
| 3 勤め先や自分の店の経営状況から | 39.2 (39.6) |
| 4 自分や家族の収入の状況から | 51.1 (51.3) |
| 5 商店街、繁華街などの混み具合をみて | 24.2 (22.6) |
| 6 その他 | 4.1 (4.3) |
- Q3. 現在の景気をどう感じますか。
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 良い | 0.4 (0.2) |
| 2 どちらかと言えば、良い | 2.1 (2.1) |
| 3 どちらとも言えない | 17.1 (18.4) |
| 4 どちらかと言えば、悪い | 52.1 (49.5) |
| 5 悪い | 28.1 (29.4) |
- Q4. 1年後の景気は、今と比べてどうなると思いますか。
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなる | 5.9 (11.7) |
| 2 変わらない | 63.1 (64.8) |
| 3 悪くなる | 30.6 (22.9) |
- Q5. 景気の状態を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。
- | | |
|------------|---------------|
| 1 金利が低すぎる | 50.6 (51.4) |
| 2 適当な水準である | 34.2 (33.7) |
| 3 金利が高すぎる | 12.6 (12.0) |
- Q6. 1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 ゆとりが出てきた | 4.3 (3.2) |
| 2 どちらとも言えない | 44.4 (45.3) |
| 3 ゆとりがなくなってきた | 51.1 (51.2) |

Q6-a. (Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方への質問)	
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】	
1 給与や事業などの収入が増えたから	63.2 (58.9)
2 利子や配当などの収入が増えたから	2.1 (6.8)
3 不動産の売却などの収入があったから	1.1 (2.7)
4 物価が下がったから	6.3 (19.2)
5 不動産・株式などの資産の価格が上がったから	3.2 (6.8)
6 扶養家族が減ったから	17.9 (13.7)
7 その他	25.3 (20.5)
Q6-b. (Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方への質問)	
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】	
1 給与や事業などの収入が減ったから	70.9 (70.8)
2 利子や配当などの収入が減ったから	13.8 (16.0)
3 不動産の購入などの支出があったから	3.4 (3.6)
4 物価が上がったから	20.7 (23.3)
5 不動産・株式などの資産の価格が下がったから	12.7 (10.1)
6 扶養家族が増えたから	10.4 (7.6)
7 その他	19.8 (19.1)
Q7. 1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。	
1 増えた	7.0 (6.0)
2 変わらない	42.2 (42.8)
3 減った	50.6 (51.1)
Q8. 1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。	
1 増える	7.2 (6.2)
2 変わらない	54.7 (58.2)
3 減る	37.7 (35.1)
Q9. 1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。	
1 増えた	31.4 (29.7)
2 変わらない	42.3 (42.5)
3 減った	25.3 (26.8)
Q9-a. (Q9で1「増えた」と答えた方への質問)	
支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】	
1 収入が増えたから	6.6 (3.6)
2 将来の収入増が見込まれるから	1.1 (1.6)
3 不動産など実物資産が値上がりしたから	1.0 (1.3)
4 株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.0 (0.7)
5 住宅など不動産を購入したから	6.7 (7.1)
6 車など耐久消費財を購入したから	22.8 (25.5)
7 扶養家族の増加などに伴う支出があったから	29.9 (26.2)
8 生活関連の物やサービスの値段が上がったから	37.4 (39.2)
9 その他	30.5 (33.0)

- Q9-b. (Q9で3「減った」と答えた方への質問)
支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】
- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 収入が減ったから | 76.2 (78.9) |
| 2 将来の収入増が見込まれないから | 45.8 (43.7) |
| 3 不動産など実物資産が値下がりしたから | 5.7 (5.0) |
| 4 株式や債券などの金融資産が値下がりしたから | 11.0 (8.7) |
| 5 扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから | 10.1 (8.9) |
| 6 その他 | 6.6 (7.6) |
- Q10-1. Q9の支出のうち、あなたの世帯では、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。
- | | |
|----------|---------------|
| 1 増やしている | 9.0 (8.2) |
| 2 変えていない | 50.7 (48.5) |
| 3 減らしている | 38.8 (41.5) |
- Q10-2. それでは、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。
- | | |
|----------|---------------|
| 1 増やしている | 3.6 (3.7) |
| 2 変えていない | 35.9 (34.0) |
| 3 減らしている | 59.6 (61.3) |
- Q11. 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。
- | | |
|--------|---------------|
| 1 増やす | 3.8 (3.9) |
| 2 変えない | 42.5 (40.2) |
| 3 減らす | 53.0 (55.2) |
- Q12. 次に「物価」についておうかがいします。
あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
(「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことです)。
- | | |
|-------------|---------------|
| 1 かなり上がった | 4.1 (5.2) |
| 2 少し上がった | 30.1 (30.6) |
| 3 ほとんど変わらない | 40.7 (37.7) |
| 4 少し下がった | 22.6 (22.9) |
| 5 かなり下がった | 1.8 (2.6) |
- Q12-a. (Q12で1または2「上がった」と答えた方への質問)
「物価」が上がったことをどのように思いますか。
- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 2.0 (1.9) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 83.4 (83.2) |
| 3 どちらとも言えない | 13.9 (13.4) |
- Q12-b. (Q12で4または5「下がった」と答えた方への質問)
「物価」が下がったことをどのように思いますか。
- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 38.4 (31.7) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 27.4 (24.8) |
| 3 どちらとも言えない | 32.5 (42.8) |

- Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったと思いますか。
 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに をお願いします。なお、「0%」と
 思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった
 () %
 下がった

平均値^(注1) : +1.3 (+1.6)
 中央値^(注2) : 0.0 (0.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 全サンプルの単純平均値は +1.5 (前回調査<22/6月実施> : +1.8)。
 (注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

- Q14. 1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

1	かなり上がる	3.3 (3.8)
2	少し上がる	39.4 (40.4)
3	ほとんど変わらない	43.7 (45.1)
4	少し下がる	11.6 (9.0)
5	かなり下がる	0.8 (0.4)

- Q15. それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わると
 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに をお願いします。なお、「0%」と
 思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 () %
 下がる

平均値^(注1) : +2.5 (+2.9)
 中央値^(注2) : 0.0 (0.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 全サンプルの単純平均値は +2.6 (前回調査<22/6月実施> : +3.0)。
 (注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

- Q16. 5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

1	かなり上がる	13.1 (15.9)
2	少し上がる	53.1 (51.9)
3	ほとんど変わらない	20.7 (20.5)
4	少し下がる	9.1 (8.4)
5	かなり下がる	1.2 (1.0)

- Q17. それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わると
 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに をお願いします。なお、「0%」と
 思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 毎年、平均 () %
 下がる

平均値^(注1) : +3.3 (+3.9)
 中央値^(注2) : +2.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 全サンプルの単純平均値は +3.5 (前回調査<22/6月実施> : +4.0)。
 (注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

- Q18. 先行きの土地の価格（地価）はどうかと思いますか。
- | | | | |
|---------|------|---|-------|
| 1 上がる | 17.2 | (| 19.8) |
| 2 変わらない | 37.3 | (| 38.7) |
| 3 下がる | 43.4 | (| 38.7) |
- Q19. 長い目で見たとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。
- | | | | |
|-----------------|------|---|-------|
| 1 より高い成長が見込める | 1.8 | (| 1.9) |
| 2 現状並みの成長が見込める | 33.0 | (| 38.1) |
| 3 より低い成長しか見込めない | 64.0 | (| 58.8) |
- Q20. これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。
- | | | | | | | |
|-----------|------|---|----------------------|------|---|-------|
| | | | うち勤労者 ^(注) | | | |
| 1 あまり感じない | 12.0 | (| 12.2) | 12.8 | (| 11.5) |
| 2 少し感じる | 47.0 | (| 46.3) | 47.9 | (| 49.4) |
| 3 かなり感じる | 39.0 | (| 39.7) | 39.2 | (| 39.0) |
- (注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）、およびパート・アルバイトなど。

以降のQ21～23は統計の利用状況に関する質問です。 今回新設

- Q21. 外国為替相場、株価、国民総生産（GDP）、短観、消費者物価、失業率といった様々な統計が、新聞やテレビ、インターネットなどで報道されています。こうした統計に関する報道を見たことはありますか。
- | | |
|-----------|------|
| 1 よく見る | 23.9 |
| 2 見たことがある | 54.5 |
| 3 見たことはない | 8.7 |
| 4 わからない | 10.8 |
- Q22. (Q21で1「よく見る」または2「見たことがある」と答えた方への質問) こうした統計は、あなたの実際の仕事や生活において役立っていますか。
- | | |
|--------------|------|
| 1 とても役立っている | 4.1 |
| 2 やや役立っている | 18.9 |
| 3 どちらとも言えない | 40.0 |
| 4 あまり役立っていない | 26.0 |
| 5 役立っていない | 9.9 |
- Q22-a. (Q22で1「とても役立っている」または2「やや役立っている」と答えた方への質問) 実際に役立っている統計は何ですか。具体的にお書き下さい。
- | | |
|--------|------|
| 1 回答あり | 87.3 |
| 2 回答なし | 12.8 |
- Q22-b. (Q22で4「あまり役立っていない」または5「役立っていない」と答えた方への質問) そう思われるのはなぜですか。【複数回答】
- | | |
|----------------------------|------|
| 1 統計は普段の仕事や生活には関係がないから | 59.3 |
| 2 今ある統計では本当に知りたいことがわからないから | 15.8 |
| 3 統計の数字は現実とかけ離れていると思うから | 27.1 |
| 4 統計をどのように活用すればよいかわからないから | 38.8 |
| 5 その他 | 4.0 |

Q23. (Q21で1「よく見る」または2「見たことがある」と答えた方への質問)
日本銀行は、短観(短期経済観測調査)をはじめとして、通貨関連統計(マネーストックなど)、預金・貸出関連統計、金利、外国為替、さらには国際収支や物価統計など、約80種類におよぶ統計を作成しており、マスコミ報道などもされています。このように日本銀行が様々な統計を公表していることをご存知ですか。また1つでもご利用いただいたことはありますか。

1 知っているし、よく利用している	1.5
2 知っているし、利用したことがある	7.3
3 知っているが、利用したことはない	50.6
4 知らない	36.5

Q23-a. (Q23で1「知っているし、よく利用している」または2「知っているし、利用したことがある」と答えた方への質問)
その統計をどのように入手していますか。よくご利用になる入手方法をお選び下さい。
【複数回答】

1 日本銀行のホームページ	13.7
2 日本銀行が発行する統計書(「金融経済統計月報」、「日本銀行統計」など)	6.5
3 テレビ	57.5
4 新聞	74.5
5 日本銀行のホームページ以外のインターネット・サイト	22.9
6 日本銀行以外の機関のレポート類	11.1
7 その他	5.2

Q23-b. (Q23-a.で1「日本銀行のホームページ」と答えた方への質問)
よくお使いになる利用方法をお選び下さい。【複数回答】

1 ホームページの画面上で毎回の公表資料や時系列データを調べたり、確認したりする	71.4
2 毎回の公表資料(PDFファイルなど)を印刷したり、自分のパソコンに保存する	23.8
3 時系列データを印刷したり、自分のパソコンに保存する	19.0

Q23-c. (Q23で1「知っているし、よく利用している」または2「知っているし、利用したことがある」と答えた方への質問)
今後、日本銀行は、日本銀行が作成する統計についてどのような点に力を入れるべきとお考えになりますか。【2つまでの複数回答】

1 金融・経済の動きをいち早く把握できるよう、もっと早く公表して欲しい	24.2
2 金融・経済の動きを正確に把握できるよう、もっと統計の精度を上げて欲しい	22.2
3 金融・経済の動きを詳しく把握できるよう、もっと調査する項目を増やして欲しい	8.5
4 新しい金融・経済の動きを把握できるよう、新しい統計を作って欲しい	5.9
5 公表される統計の計数の動きを、詳しく分析して教えて欲しい	19.0
6 利用者のニーズに応じて、特別に集計し直した計数を個別に提供して欲しい	15.0
7 ホームページや統計書の見せ方を改善して欲しい	5.2
8 特になし	24.8

- Q23-d. (Q23-c.で「1」～「6」のいずれかを選ばれた方への質問)
ご選択の際に、具体的に思い浮かべた統計の名前や内容があれば、お書き下さい。
- | | |
|--------|------|
| 1 回答あり | 33.3 |
| 2 回答なし | 66.7 |
- Q23-e. (Q23で3「知っているが、利用したことはない」または4「知らない」と答えた方への質問)
日本銀行が作成している統計を、実際に利用してみたいと思われましたか。
- | | |
|-----------------|------|
| 1 機会があれば利用したい | 18.9 |
| 2 おそらく利用する機会はない | 57.3 |
| 3 わからない | 20.3 |

最後に、あなたご自身のことやご家族のことについて全員にお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を統計的に分析するために欠かすことができませんので、ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

- Q24. あなたの性別は次のどちらですか。
- | | |
|------|---------------|
| 1 男性 | 48.0 (48.7) |
| 2 女性 | 52.0 (51.3) |
- Q25. あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。
- | | |
|----------|---------------|
| 1 20～29歳 | 10.4 (10.9) |
| 2 30～39歳 | 16.7 (17.8) |
| 3 40～49歳 | 18.0 (16.9) |
| 4 50～59歳 | 18.0 (17.6) |
| 5 60～69歳 | 19.8 (20.1) |
| 6 70歳以上 | 17.2 (16.6) |
- Q26. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。
- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1 農林漁業 | 2.0 (2.2) |
| 2 自営業・自由業 | 10.0 (9.0) |
| 3 常雇（会社員・公務員など＜会社役員を含む＞） | 36.5 (38.4) |
| 4 臨時・日雇（パート・アルバイト） | 15.3 (14.9) |
| 5 上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など） | 35.5 (34.7) |
- Q27. あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。
- | | |
|-------------|---------------|
| 1 300万円未満 | 38.0 (36.5) |
| 2 500万円未満 | 28.3 (28.5) |
| 3 1,000万円未満 | 22.5 (23.0) |
| 4 1,000万円以上 | 6.4 (6.1) |
| 5 収入はない | 3.9 (4.8) |
- Q28. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。
- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1 単身世帯（一人暮らし） | 11.3 (10.3) |
| 2 1世代世帯（夫婦のみ） | 25.2 (25.7) |
| 3 2世代世帯（親と子供の世帯） | 50.2 (49.8) |
| 4 3世代世帯（祖父母と親と子の世帯） | 11.3 (10.8) |
| 5 その他の世帯（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など） | 1.7 (3.1) |

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

- | | |
|--------|---------------|
| 1 記入あり | 14.6 (16.2) |
| 2 記入なし | 85.4 (83.8) |